

「奇跡の海」を未来のこどもたちに～ 京都のつどい

日時 5月11日(日)

13時～15時45分

山口県熊毛郡上関町、この海域は失われたはずの生き物たちが生きのびている「奇跡の海」と呼ばれています。一方で、この地に原発計画が浮上して40年。一昨年には核のごみの中間貯蔵計画も持ち上がりました。この計画には関西電力も絡んでいます。私たちにも決して無関係ではないこれらのことを知っていただきたいと思ってこのつどいを企画しました。ご参加をお待ちしています。

加藤真



「瀬戸内海・周防灘・上関の自然とその価値」

京都大学名誉教授。専門は生態学。2017年に南方熊楠賞を受賞。著書に「日本の渚」

野間直彦



「貴重な生態系と7学会の要望」

滋賀県立大学准教授。専門は植物生態学。共著に「奇跡の海」など

山戸孝



「議会から見る中間貯蔵施設問題」

上関町祝島にUターン。農水産物の加工販売する「祝島市場」を営む。2018年から
上関町議会議員

高島美登里



「守る会と現地からの訴え」

上関の自然を守る会、共同代表

(上関の漁師さんからのビデオメッセージあり)

上関の美味しい食材を使った軽食などもご用意しています。

参加費 500円

ところ 京都大学YMCA会館ホール 京都市左京区吉田牛ノ宮町21

定員 50名(予約優先です)

予約申込先 kosa@gol.com お問い合わせ 090-9993-9447(佐藤)



予約状況はこちらでご覧になれます→